

科学革命か疑似科学か ～ 予知能力の「証拠」とアカデミズム

オーガナイザー：福田敦史（慶応大学）・水本正晴（北見工業大学）

提題者：

石川幹人（明治大学）

坂根照文（愛媛大学）

森田邦久（早稲田大学）

渡辺恒夫（東邦大学）

*提題者についてプログラムから変更があります。ご注意ください。

企画の主旨：

今年、「未来の出来事が現在の人間の反応に遡及的影響を与えることができる」という論文が、*Journal of Personality and Social Psychology*という雑誌に掲載され、論争を巻き起こしている¹。この雑誌は超心理学の雑誌ではなく、通常の権威ある社会心理学の雑誌であり、この論文の著者ダリル・ベムも本来超心理学を専門とするのではなく、社会心理学の研究で名を上げたコーネル大学の名誉教授である。（この論文の掲載が決定されるとアメリカではすぐにNYタイムズを始めとする様々なメディアがこれを取り上げ、出版前から大きな騒ぎとなった。）

このような権威ある雑誌に有名大学の著名な教授による超心理学の論文が掲載されたという事実は、我々に一種の踏み絵を提供しているように思われる。もしベムの報告するような事実（それは単に一つの実験で効果が見られたということだけでなく、総計1000人以上の被験者を対象とした9つの実験で安定的に効果が見られ、それら自体がこれまでに超心理学で報告されてきた効果に対する再現実験という性格も併せ持つ）があるのであれば、心理学はもとより、哲学においても（特に時間論、心の哲学、行為論、倫理学など）その影響は測り知れない。だがだからこそ、それは我々にはとても受け入れ難いように思われる。我々はこの事態に対し、どういう態度を採るべきなのであろうか。

一般に、我々は（もしあるとすれば）いつ超能力のような「疑似科学」の対象とされてきたものを認めるようになるのだろうか。大きく分けて、以下の段階が考えられる。

- 1) 通常の手続きに従った統計的に有意な結果が報告された時
- 2) 「引き出し効果」をも考慮に入れたメタ分析によっても十分有意と認められた時
- 3) 有名な大学の有名な研究者の論文が権威ある雑誌に掲載された時
- 4) 権威ある雑誌に世界中の研究者の研究結果が日常的に掲載されるようになった時
- 5) どのような事態となろうとも原理的に認めない

通常、超心理学でなければ1)の段階で我々は結果を受け入れる。それが超心理学に限

¹ Bem, D. "Feeling the Future: Experimental Evidence for Anomalous Retroactive Influences on Cognition and Affect," *Journal of Personality and Social Psychology* 100, 407-425, 2011.

っては早急に過ぎるとしても、5)は、(超能力の有無に関らず) 理性的、科学的な態度とは言い難い。だが4)も、すでに超心理学が「通常科学」に組み込まれた事態であり、ここでしか超能力を認めようとししない人の態度も、(自分の理性的判断でなく単に人の判断に従っているという意味で) 純粋にアカデミックな態度ではないように思われる。いや3)において初めて認めることでさえ、すでに一種の権威主義ではないだろうか。確かに、この権威主義には保守主義という観点から「実践的な合理性」を認めることができるかもしれない。だがいずれにしても、現実がもし(超心理学者が主張するように)今この3)の段階に来ているとすれば、否定する側にも、いまや特別の正当化が必要となっているように思われる。

本ワークショップでは、このような問題関心から、心理学と超心理学に関してきた研究者を提題者として(特に学会の開催される愛媛大学から心理学者の坂根教授をゲストとしてお招きして)、以下のような点について、当日の会場の参加者をも交えて議論したい。

- (1) そもそも、超心理学は科学と呼べるのか
- (2) 超心理学の研究をそもそも(大学などで)行っても良いのか
- (3) どのような事態になったとき、我々は超心理学、および超能力を受け入れることができるのか
- (4) 超心理学を受け入れられないとすれば、それはアカデミックな理由によるのか、それとも超アカデミックな理由があるのか
- (5) 超アカデミックな理由であれば、それはそもそも **rational** な態度と呼べるのか

(なお、ベムの論文は3月に編集者の「釈明」つきで、さらに直後にベムの結果に疑問を呈する論文を伴って、出版された。)

<参考>

公開されているベムの論文

<http://dbem.ws/FeelingFuture.pdf>

ベムの論文の出版を伝えるニューヨーク・タイムズの記事

http://www.nytimes.com/2011/01/06/science/06esp.html?_r=1

ベムの論文の出版を取り上げるアメリカのニュース番組(最初に広告が入ります)

<http://www.msnbc.msn.com/id/21134540/vp/40965642>